



あなたの会社、逆張り経営しています～??



～ マーケットシェアの小さい企業が生き残る方法はこれだ！！ ～

ひろよしくんのみみ
2023年6月号 No.406
<https://www.myts.co.jp>



先月 19 日～21 日に G7 広島サミットが開催されました。開催初日にはゼレンスキーウクライナ大統領やインド、オーストラリア、ブラジル、コモロ（アフリカ連合議長国）、クック諸島（太平洋諸島フォーラム議長国）、インドネシア（アセアン議長国）、韓国、ベトナムなども参加、世界唯一の被爆国である広島で、「国際秩序維持の結束強化」宣言が成された事は、ロシアが核攻撃の可能性をちらつかせる中で、非常に良かったのではないかと考えていますが皆さんの考えはいかがでしょうか？

今月は、日経ビジネス 5 月 15 日号に掲載されていた、マツダの逆張り経営について書いてみたいと思います。マツダの車は、「キャロル」「ルーチェ」「アクセラ」に乗ってきましたが、ロータリーエンジンの開発、スタイルも斬新で大好きな車両メーカーの一つです。

マツダの歴史

年月	トピックス
1920 年 1 月	東洋コルク工業株式会社として創立
1921 年 3 月	松田重次郎社長が就任
1931 年 10 月	3 輪トラック生産開始
1940 年	小型乗用車を試作
1962 年 2 月	軽乗用車「キャロル 360」発売 →よく運転しました！！
1966 年 8 月	中型乗用車「ルーチェ」発売
1967 年 5 月	ロータリーエンジン「コスモスポーツ」を発売
1979 年 11 月	フォードと資本提携
1991 年 6 月	ル・マン 24 時間耐久レースで日本車初の総合優勝
1998 年 1 月	社章を「MAZDA」に変更
2000 年 3 月	早期退職優遇プランを実施
2005 年 12 月	CX-7、5、9 を漸次生産販売開始
2019 年 10 月	CX-30、60 を漸次生産販売開始

フォードに飲み込まれかけたり、販売店舗の急拡大により希望退職者を募集して倒産を切り抜けたり、100 年を超える経営期間に色々な難題に遭遇してきました。

直近 5 年間の MAZDA の連結財務状況

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
売上	3,474,024	3,564,172	3,430,285	2,882,066	3,120,349
経常利益	172,133	116,082	53,091	28,251	123,525
総資産	2,724,092	2,877,613	2,787,640	2,917,414	2,968,148
総資産経常利益率	6.3%	4.0%	1.9%	1.0%	4.2%
売上高経常利益率	4.9%	3.2%	1.5%	1.0%	3.9%
総資産回転率	1.3 回	1.2 回	1.2 回	1.0 回	1.1 回

2020 年、2021 年はコロナの影響で売上が減少しましたが、2022 年から漸く回復基調に入っています。しかし、EV シフトが進む中、マツダは逆にエンジン車の開発強化に乗り出し、変速機、足回り部品まで新規開発しています。その理由が、下記になります。

MAZDA は 2028 年から EV 車に本格シフトする事を経営計画で発表

世界が EV 車に進む事は見えているが、時間軸は揺れ動いている

MAZDA の世界シェアは 2%、この状態で一気に EV にシフトするのは危険！！
(EV 車シフトの前に、投資できる資金を稼ぎ出す⇒ 5000 億円)

EV の市場開拓は大手メーカーに任せ、普及した段階で一気に EV シフト化を図る。
シフトの内容は、量を追いかけるのではなく、他社との違いが際立つ製品作りに特化する

過去に MAZDA は、「走る歓び」や「人馬一体」という価値を全面に押し出し、MAZDA ファンを作り出して来た⇒ EV 車でも同じような特色ある車を作り出せる

あなたの会社、逆張り経営しています～??